

WA-CHA

ゆちゃ

Vol. 2

2022年11月発行



特集

人とコトがつながる場所

wai wai place 中のや

対談

「地域活動×情報ツール」by 置賜地域

高畠町若者まちづくり団体 おれまが 前代表 スタジオ八百万 代表

大塚 栄一 氏 × 山田 茂義 氏

山形いまどき若者アンケート集計結果発表！

「今住んでいる地域は好きですか？」

- 若者サポーターに相談したみなさん、躍進中！
- 若者支援コンシェルジュのご紹介
- やまがた若者スポット情報 from やまがた若者応援大使



屋さんだった「旧中野屋」を見つけたんです。私も子どもの頃はお菓子を買いに来た思い出があります。厨房や蔵もあり、いろいろ使えそうだと思って、家族に頭を下げた。旧中野屋を買いました。もちろん家賃収入でそのうちペイできるという試算もありますが、許してくれた家族には感謝しかありません。」

購入してから取り組んだのがリノベーションでしたが、思いの外はかどらず、苦戦を強いられそうでした。「知人の息子さんが大工をしていて、強力な助っ人になってくれるなど、いろいろな人が手を貸してくれてオープンまでたどり着きました。」

当初は任期を終える地域おこし協力隊員のために、と購入した店舗でしたが、話を聞いて「入居したい」という人が次々と現れます。はじめは、「マルイシ工作室」さん。裏にある小屋を作業場に、そして活動の場としても使いたいと入居することになりました。そして、もともと中山町内の自宅で開業していた「人をつなぐおもちゃ屋ふわり」さんも、常設の店舗が欲しいということで、おもての店舗の半分を使うことになりました。「入居者も決まったし、それじゃあオープンイベントやりませんか、看板つけますか、って感じで（笑）。外装工事が終わってなくて足場がある状況でしたが、そんな感じで始まりました。」オープン後も、いろいろな人から「ここで何かできそう」という相談がきているそうです。

「ここを足掛かりに活動を始めたいという人から相談が来るようになりました。相談を受けて、力になれなくても、中山町の中にはいろんな人がいるので『あのの人に相談してみたら』とつながりだっています。ここで何ができるか

**人の往来を生む活動拠点！
場所があるから活動できる、可能性が広がる**



特集

人とコトがつながる場所

wai wai place 中のや



な、と妄想してくれるのが楽しいですね。いろいろな人がここでやりたいことを話し合っ、自分が思いつかないようなことをするんですよ。ふわりさんも、オープンイベントでおもてのガラス窓に絵を描かせたりとか、マルイシ工作室さんは子どもたちを読んでワークショップしたりとか。好きなようにやってもらっていて、それがまた刺激的でもしろいんです。やりたいと言うことには基本反対しないで、周りの調整とか、壁になることを取り扱う役をしていますね。」

「自分が子どもの頃と比べて活気がなくなった街並みをどうにか元気にしたい」という思いがずっとある、という村山さん。「中のや」ができたことで、新たな人の往来が生まれました。



「中のや」を作るきっかけになったのは、町で活動していた地域おこし協力隊員でした。「協力隊の任期が終わってからも、中山町に住んで活動したいと言ってくれたんです。スカウトした私としては、その気持ちが嬉しくて手伝おうと、それにふさわしい住居兼事務所がないかと探していました。すると、昔お菓子

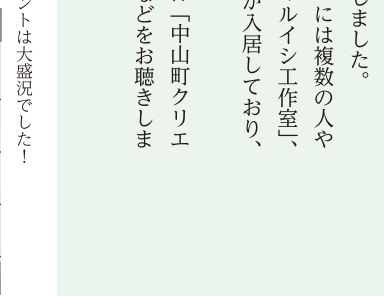
空き店舗を自費で購入した理由とは

村山聡さんは、中山町で生まれ育ち、関西の大学を卒業後、Uターンして中山町役場に籍を置きました。町を活性化するための事業として、三大い煮のイベント実施や、町の農産物を加工した商品の開発などを手掛けてきました。

山形県東村山郡中山町は、山形市に隣接する人口約1万人の町。大動脈とも言える国道112号線から東に続く道路沿い、町役場から徒歩1分ほどのところに、旧店舗をリノベーションした「wai wai place 中のや」がオープンしました。「人とコトがつながる場所」というフレーズのとおり、「中のや」には複数の人や団体が関わっています。現在は「人をつなぐおもちゃ屋ふわり」、「マルイシ工作室」、元地域おこし協力隊員が開業した「awai design room」の3つが入居しており、それぞれにスペースを活用して思い思いの活動を展開しています。「中のや」のオーナーは、中山町役場職員であり、地域活動団体「中山町クリエイティブ部」にも所属する村山聡さん。どんな経緯で始まったのかなどをお聴きしました。



◀ 8月20日オープニングイベントは大盛況でした！



情報ツールの進化は年々加速しています。スマートフォンが普及し、SNS が当たり前になった今、情報ツールの活用はどのように変化してきているのか。長年、活動の発信やネットツールを活用しての交流をされてきた大塚栄一さんと山田茂義さんに、これまでと今を伺いました。



初対面です

若者サポーター
高畠町若者まちづくり団体 おれまか
前代表 **大塚 栄一氏**
地元高畠町を中心にサブカル系イベントを展開。「おれまか」卒業後は、後輩のサポートをしつつ、若者支援の団体「たまなび」の代表を務める。

若者サポーター
コワーキングスペース スタジオ八百萬
代表 **山田 茂義氏**
実家の元八百屋を改装し、2014年にコワーキングスペース「スタジオ八百萬」をオープン。イベントなどを通して、地域に根差した関わりを築いている。

読んだ人が**笑顔**になれる
そんな投稿を心掛けています

大塚 まちづくり団体の「おれまか」をずっとしてきましたが、45歳で卒業となり、今はサポーター側です。個人的に、自分は世代間の通訳の役割を担いたいと思っていて、自分より上の世代と、若者との橋渡し役になれるのは、どちらの言葉も理解できる僕なのか。少しいや世代って、特徴的な言葉を使う時があるじゃないですか。

山田 置賜とか特に、言葉のチョイスが独特な時がありますよね。標準語のニュアンスと違うというか。

大塚 そう、慣れないと分からないんじゃないかな。

山田 僕は今の仕事をする前はサラリーマンで、コンピューターの回路設計をしていました。震災などを機に、もう少し地域に関わりたかなと思っただけで、まずはブログを始めました。地元の面白い人や場所を紹介するブログです。すると、地元の人達とのつながりが増えて。その中でも「メロメ」さんというバンドでは、映像制作や企画をお手伝いするようになりました。イベントも何度かしたのですが、大塚さんとも何度かして。

大塚 母がよく行ってました。

山田 やっぱ、お母さまなんです。他にもメロメさん関係でおれまかさんと接点もあったりして。知らない人じゃなかった（笑）。

店舗名 **wai wai place 中のや**

〒 990-0401
山形県東村山郡中山町長崎 108
Instagram・Twitter @wwpnanoya
問合せ：wwpnanoya@gmail.com
● 車でお越しの際は中山町役場近くの「中のや駐車場」をご利用ください。

MAP ▶



「wai wai place 中のや」は、あらかじめ決められた線路（計画）というものがない、みんなで線路を足していきながら進む列車のよう、と笑います。「中のやは、いろんな人が関わる『余地』があるなと思います。すでに線路が決まっていると、そこに乗れる人だけが乗る、となってしまふ。自由に線路を継ぎ足す私たちを受け止めてくれる村山さんだから、今こうなっているんだと思います。」

と話すのは、「一人をつなぐおもちゃ屋ふわり」さん。

ゆるくやさしい空間の中で、これから何が始まるのか？

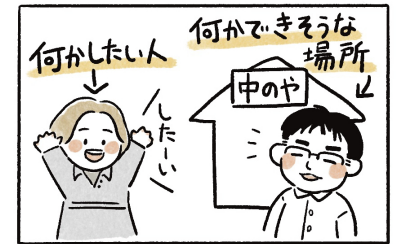
中山町の一角で、まだまだ楽しいことが続きそうです。

中のや 入居団体のみなさんをご紹介します！

人をつなぐおもちゃ屋ふわり

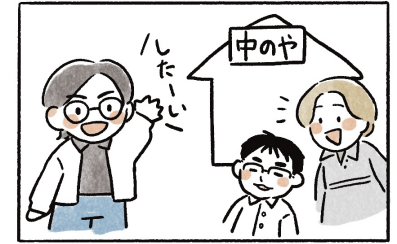
ゆたかな親子時間に寄り添う、国内外の木のおもちゃとアナログゲームを扱うお店です。大人も子どもも実際触れて遊んで選べるように、元保育士の店主とお待ちしております。大人と子どもの学びと癒しの講座等もあります。

営業時間：10:00～16:00
お休み：基本木曜日曜
（季節等により変動あり、詳しくはSNSにてご確認ください）
お問合せ：090-6887-5907（渡邊）



マルイシ工作室

「マルイシ工作室」として、山形県内外の公民館や美術館などで、子ども大人も気軽に参加できるアートワークショップを開催しています。年齢や立場を超えた人たちが集い「教える／教わる」が双方向に行われる関係性を生み出すことを大切に活動しています。



awai design room

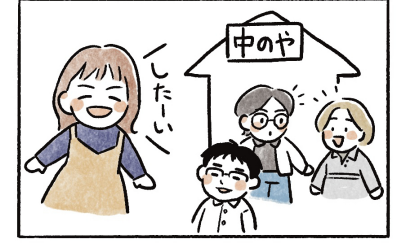
印刷物を中心にデザインのお手伝いをしています。デザイン初めての方でもお気軽にご相談ください。



Instagram



サイト



絵：いなばせいり



▲東京の学生たちによる地域コミュニティのイベント準備/スタジオ八百萬 (2019年)

大塚 あまり背伸びせずまっすぐな発信をしてほしいと思います。でも、地域活動は背伸びしろって思いますけど(笑)。地域活動は背伸びしても、誰か支えてくれる人がいます。それこそ僕たちは「若者サポーター」で、支えようとしているほうなので。若いうちは失敗しても許される!

山田 失敗と言えば、SNSで「こん

若者へ伝えたいこと

なことと言うと叩かれるんじゃないか...」って心配する事もあると思うんですけど、僕は受け取ってくれる人を信じて発信しています。きっと大丈夫って。ツールは発信のためだけにあって、なく交流するためのツールでもあるので、一方的だと受け手が嫌になる場合もあると思うんです。受け手がいるっていう前提で、どんな反応が返って来るかを想像して、相手の話を聞くために発信するのも大事じゃないかな。

大塚 会話はキャッチボールですもんね。

山田 あんまり立派なボールで投げるよりも、自分の等身大で投げたほうがいいって、大塚さんの話でも出てきましたけど。

大塚 ところで、団体じゃなくて個



大塚 びっくりです。

山田 会社を退職した時にやりたいことが二つあって。ひとつはここで、もうひとつは東北芸術工科大学に通ってみたいっていう。

大塚 芸工大ですか!

山田 聴講生として通い始めて、10年目になります。コロナもあって今は行けてないんですけど。すごく刺激があります。県内で最初のワーキングスペースが「スタジオ八百萬」だったので、馴染みがなかったのか始めは誰も来なかったんです。そんなときに芸工大の先生に頼んで、ここで授業をやってもらいました。リアルイベントは、隣の人の反応とか他の人の熱が伝わってくる距離感がいいですね。先生も同じところに立つので、フラットな関係というか。もともとブログもこの場所も、町の中に地元の人と外から訪



▲2019年の「ミコちょう」は山形出身の声優も参加

れた人が交差するような場所があったらいいなという思いが根底にありました。

継続は力なり

大塚 2013年にニコニコ動画が主催する「ニコニコ町会議」が高島町に来たんですよ。その時すでに「おれまか」はサブカルイベントをしていたので、いろいろ任せてもらいました。その翌々年から、独自イベントの「ミコミコちゃん祭」を始めました。こちらも、始めはあまり人は来なかったですね。でも、人が来てくれるきっかけって、やっぱり口コミとか人との繋がりが強いと思うんです。継続は力なりといいますが、イベントを続けているうちに、ちよつと変な目で見られていたのが「おれまかさ今年は何?」つ



て聞かれるようになりましたね。

山田 置賜の人って、良く分からないものに近づかない、手を出さない、腰が重いつているのがあると思うんです。でもやり始めたならやめない、そこそ継続する力ですよ。

情報発信はプレゼント

山田 スタジオ八百萬の情報発信や交流で使っているのは、主にホームページとFacebookですね。Facebookは文章が書きやすいです。他のSNSもあるんですけど、あんまり。

大塚 Facebookが一番ブログに近いですよ。

山田 あとは多機能なので交流しやすいと思います。発信するときに気をつけてることとか、ずっと残っている言葉があつて、芸工大の映像の先生

人で発信する時、「ラーメン食べてきました!」とか見ても面白くないかなーって発信できないんですけど、山田さんどうですか。

山田 僕はラーメンをいかにうまくに写真に撮るかに命懸けてるんです。

大塚 素晴らしい! 僕もちゃんと使っているように、自分をバージョンアップしていかないと改めて思いました。

check!

高島町若者まちづくり団体 おれまか (Twitter)
山形県高島町を盛り上げるため、コスプレ・痛車などのポップカルチャーイベントの企画・運営を行っています。ツイキャス生配信「見どごえ?高島!」は隔週金曜日夜21時〜。

check!

coworkingスペース 「スタジオ八百萬」 (HP)
様々な業種で働く個人が仕事の拠点として活用するワークスペースです。仕事以外でも、趣味の集まりや貸し切りイベントなどにもご利用いただけます。



CONNECT. (コネクトドット)

「もっと起業を自由に。」をスローガンに開催。複数の地域の起業支援機関や起業家の話を聞くことができるイベントです。

日 時: 2022年11月19日 (土) 14:00 ~ 16:30
会 場: スタジオ八百萬 (米沢市)、COGO-Works (米沢市)、スタートアップステーション・ジョージ山形 (山形市)、Nagai Coworking Space Plus 2 (長井市)
またはオンライン受講
受講料: 無料

まなびば

誰でも安心して参加でき、独りではできない経験や自身の魅力や他者との結びつきを体験できるような居場所を目指しています。

運 営: たまなび
場 所: 「ひなたぼっこ」(高島町深沼 12-4)
開催日時: 10:00 ~ 15:00 (出入自由)
※開催日はお問合せください
連絡先: 050 5583 5345 (大塚)
tamanabi@outlook.jp

からだにやさしいごはんやおやつ 袖

11月23日(水)に八百萬にて米沢初出店。不定期で営業する間借りカフェです。小麦粉・白砂糖・バター・生クリーム不使用で野菜をたくさん使ったメニューを提供いたします。

詳しくは Instagram をご覧ください ▶



が言っていた「企画はプレゼント」という趣旨の言葉です。受け取って嬉しくなる、最後にほっとするような流れを作ると良いという話でしたが、僕はSNSにも当てはまると思っています。読んだ人が笑ったりびっくりするような投稿を心掛けてますね。

大塚 プレゼント! いいですね。「おれまか」は「Twitter」です。あとは、「ツイキャス」を使って生配信をしています。しばらくはニコニコ動画内で続けていたんですが、有料だったのもあってツイキャスに移行しました。ニコニコ動画はパソコンやマイク、カメラなどの機材が必要だったんですけど、ツイキャスは今スマホ一台でできるんです。機材に詳しい人がいないと配信できないということがないように、システムを変えていきました。

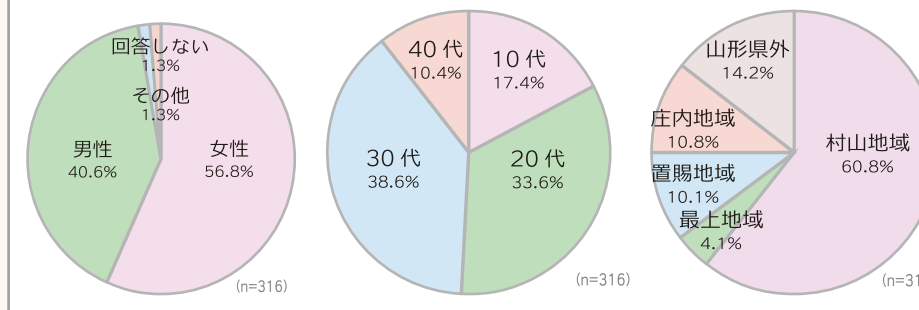
山田 僕もブログ時代は「WordPress」も使ってましたね。「Twitter」は知らない人同士が繋がっているツールです。あとは、自分でホームページを作ったり、時にはお願いされたりもします。

大塚 ホームページやブログのように自分から取りに行く形から、フォローしていれば流れてくるSNSの時代になってきて、ネットの使い方が変わってきているのかなと思います。つながりから自分の情報がブラッシュアップされていく.....

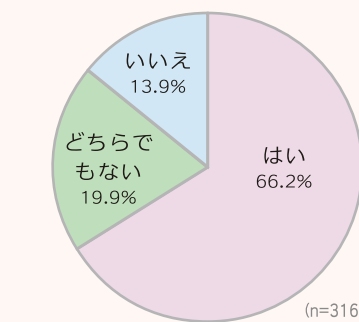
若者支援コンシェルジュでは、山形県に縁のある18歳〜40歳位までの方を対象に、ウェブアンケートを実施しました。
 (調査期間：令和4年8月11日〜令和4年9月10日)
 回答者数は316人となり、さまざまな意見が寄せられました。
 アンケート結果より、一部を抜粋して掲載します。



回答者の属性

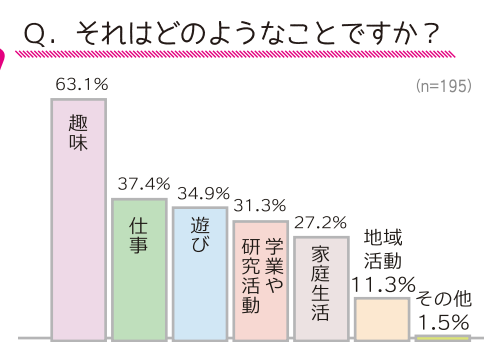
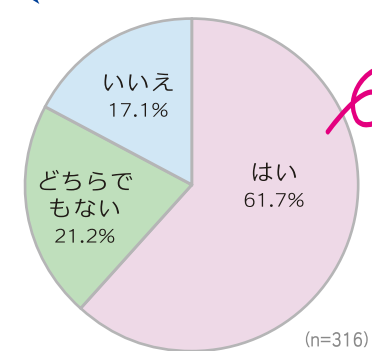


Q. 今住んでいる地域は好きですか？

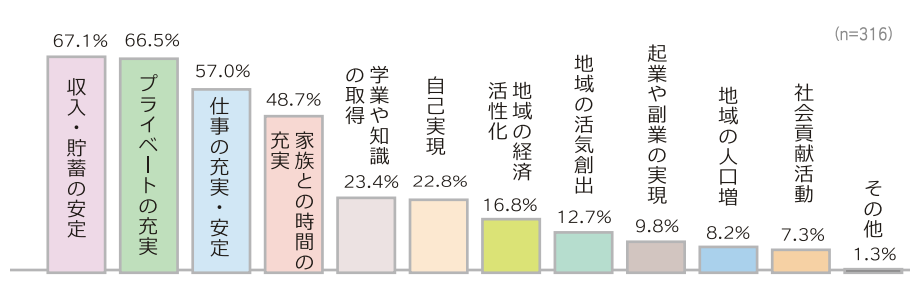


「今住んでいる地域は好きですか？」という設問では、66.2%の人が「はい」と答えました。理由を尋ねると、「食べ物おいしいから」(65.1%)、「買い物などの日常生活が便利だから」(51.7%)、「自然が豊かだから」(47.4%)でした。反対に「いいえ」と回答した方の理由は、「若者の遊ぶ場所がないから」(68.2%)、「交通が不便だから」・「専門店が少ないから」(54.5%)という回答が多く寄せられました。

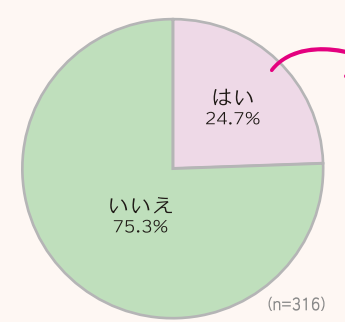
Q. あなたは「自分のしたいこと、好きなこと」をしていますか？



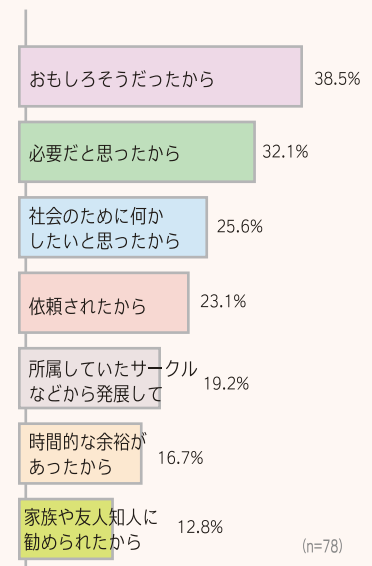
Q. あなたがこれからの人生で特に重要だと思うものはなんですか？



Q. あなたは地域のための奉仕的な活動をしていますか？



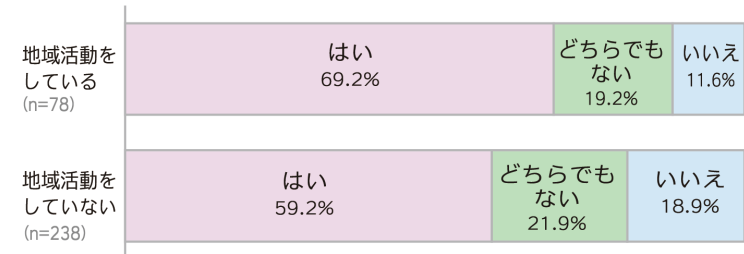
Q. きっかけは何ですか？



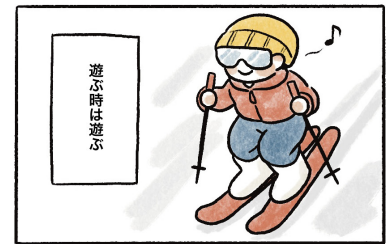
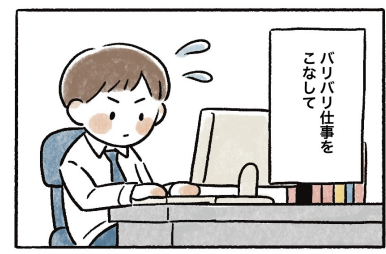
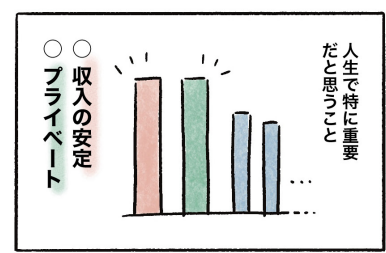
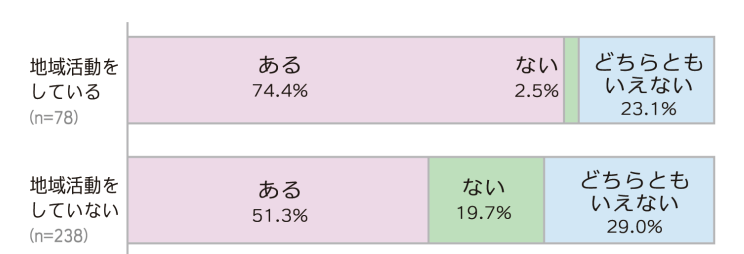
「はい」と回答した人に活動内容を聞いたところ、「文化・芸術・スポーツの振興」(35.9%)が最も多く、「まちづくり、むらづくり活動」(29.5%)、「自然環境保護、リサイクル推進」(23.1%)の順となりました。

地域活動をしている人・していない人で集計してみると・・・

Q. あなたは「自分のしたいこと、好きなこと」をしていますか？



Q. あなたは、これから自分のためにやってみたいことがありますか？



絵：いなほせい

アンケート結果の一部のみを抜粋して掲載しましたが、いかがでしたでしょうか。
 ほかにも「どんな情報ツールを使っているか」など、興味深い内容が盛りだくさん！ウェブサイトを「おこしいネット」に掲載していますので、ぜひご覧ください。
 最後に、アンケートにご協力いただきました316名の皆様に心より感謝申し上げます。

check!
 おこしいネット
 アンケート集計結果ページ→

若者サポーターはキミのしたいことを応援するよ!



絵: いなはせいら

若者サポーターは、地域を元気にする活動をしている、またはこれからしたいと思っている若者のみなさんを応援するために作られた制度です。これまで「団体の作り方を知りたい」、「機材の操作方法が知りたい」、「起業したい」、「一緒に交流活動してほしい」など、さまざまな依頼がありました。

現在は 28 名の若者サポーターが登録しています。地域活動実践者で、みなさんよりちょっとだけ先輩のサポーターが、あなたの困りごとや迷いごとと一緒に考えてみます。

- サポートの内容: 地域を元気にする活動をするための相談やアドバイス、実践など (単なるお手伝いはご遠慮ください)
- サポートの時間: 1 団体 (1 人) あたり 6 時間まで
- サポートの料金: 無料
- お申込み方法: ウェブサイト「おこしあいネット」のお申込みフォームから送信するか、若者支援コンシェルジュまでお電話ください。

若者向けの元気応援窓口 若者支援「シェルジュ」のご紹介

若者のみなさんの地域活動を応援しています!

◎ まずは話してみよう

☎ 080-4732-3804

なんでも相談窓口 (月～金 9:00～17:00)

check!

イベントや支援情報など情報もたくさん!
おこしあいネット
<https://yamagata-okoshiai.net/>



- ★メールマガジン 毎月 5 日発行中!
- ★SNS もあるよ! @wakamonoshienc



いろんな人と話そう、つながろう テーマサロン

隔月 1 回開催しています!



▲ 第 1 回テーマサロン



▲ 第 3 回テーマサロン



▲ 第 4 回テーマサロン

※第 2 回テーマサロンについては、新型コロナ感染拡大防止の観点から中止しました。



在山形ベトナム人協会 TV Yamagata さん



山形ママコミュニティ mama*jam さん



やまがた基地づくりさん



Co-Creating-Lounge & Share House
「Kiwa」さん



河北町地域おこし協力隊 菊地航平さん



川西町子ども食堂なかよしキッチンさん



若者サポーターに相談したみなさん、躍進中!

若者サポーター と 若者支援コンシェルジュ

についてもっと知りたい方は おこしあいネット

または ☎ 080-4732-3804



おこしあいネット
若者サポーターページ

語らいにおいでよ!

やまがた若者スポット情報

from やまがた若者応援大使

ふう〜と一息、ネコに邪魔されがちな宿

民泊工房 FUu ~

山形県村山市大字白鳥 1152-1

時間を忘れ思う存分七宝焼が楽しめる合宿所のような宿。季節によって蛍や稲の波が見え、冬は雪を見ながらこたつでゴロゴロ…過ごし方はそれぞれ自由です。日常を忘れ、七宝づくりをして“ふう”とひと息つきませんか？七宝をせずただただネコと触れ合うのも大歓迎です。



今ここにある豊かさをみんなで味わう“場”

こしゃってマルシェ

山形県鶴岡市三千刈字藤掛 1

「農」「食」「手しごと」をキーワードに、丹精込めて作ったモノが集まる市場。作り手と言葉を交わすことで、より身近で愛情あふれたモノになります。ワークショップでは地域資源を素材として、手を動かす楽しさを体験できます。開催日はWebサイトでチェック！



小さな冒険 はじまりの場所

ゲストハウス松本亭一農舎

山形県西村山郡朝日町大字常盤ろ 1

宿には、無料で遊べるTVゲームや世界のボードゲームがあり、裏庭では焚火ができます。宿の居間は13時から夕方までは誰でも立ち寄れる交流スペースとして解放しています。ちょっと違った空気を吸いたい時、新しい発見がしたい時など足を運んでもらえたら嬉しいです。



《編集後記》

2号も無事発行できてほっとしています。取材や写真の提供にご協力いただいた皆さんには、本当に感謝しています。ありがとうございました。

今年はイベントが多くて勢いを感じます。私も今を楽しみます！

久しぶりの取材同行、私も何かやってみたいと触発されています。

(のん)

【Special Thanks】

イラストレーター…いなほせいち

神奈川県出身のイラストレーター。今年から鮮川村の自然の豊かさに魅せられ滞在しています。優しく柔らかなイラストが得意です。



Instagram



ポートフォリオ
サイト

【制作・発行】

若者支援コンシェルジュ事務局

〒990-0832

山形県山形市城西町五丁目29-19

(AISOHO株式会社)

TEL 080-47332-3804

FAX 023-673-0703

【委託元】

山形県しあわせ子育て応援部

女性・若者活躍推進課